

2023年5月26日

キリンビバレッジ湘南工場で PPA モデル^{※1} 導入による 太陽光発電電力の活用を 2024 年 5 月に開始予定

～RE100 目標^{※2} の早期達成を目指すとともに、2050 年までのネットゼロ^{※3} 実現に貢献する～

キリンホールディングス株式会社（社長 磯崎功典）のグループ会社である、キリンビバレッジ株式会社（社長 吉村透留、以下キリンビバレッジ）は、再生可能エネルギーによる事業運営を推進するため、キリンビバレッジ湘南工場（工場長 松田明彦）において、PPAモデルによる太陽光発電電力を 2024 年 5 月より導入・稼働開始予定です。本取り組みにより、年間約 560tのGHG^{※4} 排出量を削減するとともに、キリンビバレッジ湘南工場の使用電力の再生可能エネルギー比率は現状の約 26%から約 29%に向上する見込みです。

※1：PPAは Power Purchase Agreement（電力購入契約）の略であり、PPA モデルとは、PPA 事業者が電力需要家の敷地や屋根等に太陽光発電設備を無償で設置し、そこで発電した電力を電力需要家に販売する事業モデル

※2：RE100は、電力の再生可能エネルギー100%化を目指す企業で構成される国際的な環境イニシアチブ。キリングroupは2020年11月にRE100へ加盟し、2040年までに使用電力の再生可能エネルギー100%化を掲げている

※3：人為起源のGHG排出量と除去量がつり合い、大気中へのGHG排出が正味ゼロの状態

※4：温室効果ガス

キリンビバレッジ湘南工場は、2022年に100mlペットボトルを含む小型ペットボトル飲料の供給体制を整えるため、設備投資をしました。これにより、湘南工場全体の年間生産能力は従来約1割増となる約4,000万ケースに拡大しています。湘南工場は2023年6月に操業開始から50周年を迎えます。これからも、お客様の毎日においしい健康をお届けできるように、今後さらに進化していく予定です。



＜今回 PPA モデルによる太陽光発電電力を導入するキリンビバレッジ湘南工場＞

今回導入する PPA モデルは、JFE エンジニアリング株式会社（社長 大下元、以下 JFE エンジニアリング）の子会社であるアーバンエナジー株式会社（社長 小林厚）が PPA 事業者となり、キリンビバレッジ湘南工場に、大容量の太陽光発電設備を設置し、そこで発電された電力をキリンビバレッジが購入・活用するものです。キリングroupは、キリンビール全 9 工場への太陽光発電電力の導入・稼働を 2022 年に完了させました。さらに、キリンビールで培った知見を生かし、2023 年 3 月にはメルシャン藤沢工場や協和キリン宇部工場への PPA モデルによる太陽光発電の導入・稼働を完了させるなど、再生可能エネルギーの導入加速に向けてグループ連携を深めています。

キリングroupは、「キリングroup環境ビジョン 2050」で“2050年までにバリューチェーン全体のGHG排出量をネットゼロにする”高い目標を掲げており、SBT イニシアチブ^{※5}によるSBT ネットゼロの認定を、2022年7月に世界の食品企業として初めて取得しています。

※5：CDP、国連グローバル・コンパクト、WRI（世界資源研究所）、WWF（世界自然保護基金）の4団体が2015年に共同で設立した国際イニシアチブ

今後もキリングgroupは、複合的に発生し相互に関連する環境課題（生物資源・水資源・容器包装・気候変動）に統合的に取り組み、豊かな地球の恵みを将来にわたって享受し引き継ぎたいという思いをバリューチェーンに関わるすべての人々とともにつなぐべく、自然と人に「ポジティブインパクト」を与えるさまざまな取り組みを積極的に進めていきます。

<参考>

・キリングgroup環境ビジョン 2050

<https://www.kirinholdings.com/jp/impact/env/policy/mission/>

（お客様お問い合わせ先）

キリンホールディングス株式会社 お客様相談室（フリーダイヤル）0120-770-502
企業情報 Web サイト <https://www.kirinholdings.com/>